

一人暮らしのための下宿の選び方

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。

高等学校卒業後に大学・短大・専門学校などいわゆる高等教育機関に進学なさる方は非常に多く、8割くらいに上ること。そのうちの半分以上は推薦入試で進学すること。その方法で進学する方は浮かれて遊んでいないで、上の学校に行くための準備をした方がよいこと。特に、昨今は大学生・短大生・専門学校生の学力不足が社会問題となっているので、高校生の時に足りなかった勉強を今のうちに一所懸命やっておいていただきたいことなどを、この間からお話してきました。今日は、その関連で、下宿などの選び方をどのようにしたらよいかお話させていただきます。

自宅から通われる方はそのままよいのですが、下宿をしたり寮に入ったりする方もいますね。そこで考えなければならないことは、どのように下宿や寮を選んだらよいかということだと思います。

私は、栃木県育英会が運営している東京都目黒区大橋にある栃木県学生寮に2年間お世話になりました。慶應義塾大学の法学部に進学したので、1・2年の時は横浜市の日吉というところまで通っていたのですが、非常にありがたかったです。栃木県の育成会がやっていますので安い家賃で入居でき、食事も栄養豊富な物が出たので非常に助かりました。ただ、東京の生活は初めてなので、びっくりすることが多々ありました。井の頭線で、駒場の東大前から渋谷まではたった4～5分なのですが、こんなに混む電車があるのかと思うほど、混んでいました。最初は何本か見過ごしたことがあり、混んでいるので歩いて行こうとしたら30分以上もかかりました。その当時は体重がずいぶんあったのですが、3か月くらいで10キロ以上やせました。

もちろん諸事情もあるでしょうが、東京はラッシュにもまれることが多いので、地方から行く場合は、よく考えて、自分の通う学校と下宿・寮がどのくらい離れているかをみていただき、できるだけラッシュにあわないようなところを選ぶのがよいと思います。名前がかっこいいからと、都心の大学に通うのにラッシュが非常に激しいところを通って行く方がいます。それも、大学までは1時間もかかるというところにわざわざ下宿をされる方がいますが、それは避けた方がよいかもしれません。地方から行った方は、それでヘトヘトになってしまい、私のように何キロもやせてしまいます。私は、元々太っていたのでやせてよかったのですが、ストレスが非常に多かったです。できれば大学の近くに下宿された方がよいと思います。

穴場と申しますか、東京都の中にも山の手地区と川の手地区がありまして、川の手地区には川がいくつも流れています。隅田川や荒川などですね。川が付く地区は下宿代もそんなに高くなく、下町ということになじみやすいので、できれば栃木県の方は川の手地区と申しますが、荒川地区や江戸川地区、隅田川地区などに下宿を考えるのも一つかも知れません。私も東京に毎日のように行っているのですが、駐車場を荒川区の日暮里というところに借りているのですが、荒川区は非常によいところです。荒川区や江戸川区などの中で交通の便がよいところを探そうと思ったら面白いかなと思います。下町は非常に人情

が溢れていていいですね。特に谷中あたりはいいかもしれません。余計なことも言いましたが、是非快適な下宿を探して下さい。

また、収入の範囲内で生活することが大事です。栃木県の福田知事が分度推譲(分度とは分限を守り分に応じた消費をすること、推譲とは譲ることを進めるということです。)とおっしゃっていますが、これは一般の生活にも当てはまります。保護者の方からいただいたお金とアルバイトをして得た収入と奨学金などの範囲内で生活をして、少し余らせてボランティア活動など色々な活動をしたり旅行をしたりすればよいと思います。

保護者の皆様をお願いしたいのは、お子様たちが一人暮らしを始める前の今のうちに、自活できるようなトレーニングをしていただきたいということです。なるべく外食をせずすむように、朝食や昼食を自分で作り、夕飯も自分の下宿に帰って作れるような形にしていただければ有難いと思います。

最後に、また次のことをお願いいたします。今栃木県は、足利銀行の国有化に伴って経済再生ということで非常に一所懸命やっています。その中でもとりわけ温泉地というか観光地が厳しい状態にありますので、皆様にも是非栃木県の経済再生に御協力をいただきたいと思います。

そこをお願いしたいのは、栃木県内にある素晴らしい温泉地に1か月に1回くらいは行っていただきたいということです。200万人の県民の方に、日帰りでもよいですから自分の好きな温泉地に行って体を休めていただきたいと思います。特に1月から3月にかけて、できれば1~2泊していただければと思います。温泉地の活性化に繋がるだけでなく、リラックスすることによって素晴らしい発想も出、体も休まって長生きできます。私もまだ1月は行っていないので、是非1回行き、英気を養いたいと思います。皆様にも是非御協力をお願いいたします。